

登録コード	HM239100	開講年度	2026					
授業題目	老年保健学演習A					担当教員	上村 智子 他	
英文授業名	Practice in Geriatric Health Science A					副担当	務臺 均・佐賀里 昭	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・5時限	水曜・6時限	対象学生	老年保健学ユニット／1年次
講義室				授業形態	演習	備考	選択科目	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野加, 2025HM保健学分野加, 2024HM保健学分野加, 2023HM保健学分野加							
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	老年保健学領域に関する研究課題について、国内外の文献の講読と批判的思考を通して、研究課題を精選し、必要な研究手法や各種条件を整える。	
(2)詳細 /Detailed information	一般学習目標GI0（期待される学習効果） ・老年保健学領域に関する研究課題について、国内外の文献の講読と批判的思考を通して、研究課題を精選するとともに、研究課題を進めるための研究手法や各種条件を整える。 SBOs（行動目標） ・課題に関する原著論文を適切に収集し、邦文、欧文に関わりなく読み解くことができる。 ・文献講読を通して、主体的に課題を導くことができる。 ・研究課題を進めるにあたり、必要な各種条件を整えることができる。 ・研究計画書を作成できる。							
(3)授業の概要 /Overview of course	心身機能の低下した高齢者へのADL支援に関する国内外の文献の講読と批判的思考を通して、実施可能性，新奇性，倫理性，臨床現場での切実性を兼ね備えたリサーチクエストを立案する能力を涵養する。さらに研究課題の実施に必要な研究方法についても国内外の論文・教科書を講読し，研究方法を迫及することで，研究課題の遂行に必要な条件を整備する。							
(4)授業計画 /Course plan	開催日時は受講学生と検討のうえ決定する．研究の進捗により下記の所要時間は前後するが，相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 第1-3回　：心身機能の低下した高齢者のA D L支援に関する文献レビュー 第4-6回　：リサーチクエスト設定のための準備 第7-9回　：必要な研究方法の習得や準備 （適切な研究デザインや成果測定の選択と実施，研究フィールドの調整） 第10-12回：良いプレゼンテーション実施のための準備（関連学会への参加と意見交換） 第13-15回：経過報告・プレゼンテーション							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	課題のプレゼンテーションやディスカッションの内容に基づいて，総括的に成績を評価します。 秀：SBOの達成度が卓越した水準にあり，複雑な応用問題を議論できる 優：SBOの達成度が良好な水準にあり，基本的な応用問題を議論できる 良：SBOの達成度が普通的水準にあり，基本的な応用問題を議論できる 可：SBOの達成度が最低限の水準にあり，基本的な応用問題を議論できる							
(6)履修上の注意 ・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	【事後学習】授業の中で疑問に感じたり，自身の知識が足りないと感じた事柄に関しては，テキストや文献等を通して復習するように取り組んでください。 質問には，メールで対応します。 【履修上の注意】web会議システムによる遠隔授業を行う場合は，事前にアクセスID／パスワードを通知します。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	質問・相談は，メールにて随時受け付け，積極的に対応します。 開講日については，別途，連絡します。 オフィスアワー 上村：木曜日12時～13時　保健学科中校舎4階　上村研究室（事前にメールにてご連絡ください） tkamimu@shinshu-u.ac.jp 務台：随時　保健学科南校舎2階　務台研究室（事前にメールにてご連絡ください） hitmutai@shinshu-u.ac.jp 佐賀里：随時　保健学科南校舎2階　佐賀里研究室（事前にメールにてご連絡ください） sagaria@shinshu-u.ac.jp							
(8)授業の形式 /Course format	講義と，学生のプレゼンテーションとディスカッションを組み合わせで行います。また，授業の一部は遠隔授業で行います。							